

# 長畠ひろのり



# News

vol.135・136  
合併号

(C)2013 Kohama Studio

## 市議3期12年の実績

市議会議員として市民のために活動を続けてきた3期目も終わりが近づいて来ました。そこで1期目より、私が取り組んだ内容の主なものについて報告します。

詳細につきましては、項目ごとに市政報告の番号と発行年月を下線にて示していますので、私のホームページ（この市政報告裏面下段のURLかQRコード）にてご確認下さい。

### ・2学期制導入反対について

議員として最初に取り組んだ課題です。主に訴えてきた内容は「市教委や学校現場から公平な視点で見た2学期制のメリットやデメリットを保護者や市民へ伝えて頂き、急ぐことなく多くの議論をした上で結論を出して頂きたい」でした。

001 (07年7月) · 004 (07年10月) · 007 (08年1月) · 009 (08年3月)

何度も議場での一般質問や直接担当者と話をしましたが、聞き入れてもらえず、2008年4月より中学校において試験的ではありましたが、2学期制がスタートしました。

しかし、そのひと月前の3月13日に教育長が懲戒免職となり、わずか一年で3学期制に戻りました。戻ったことは良かったのですが、生徒を中心にはやめを招いたことは確かに、私も阻止できなかったことに今も反省をしています。

010 (08年4月) · 011 (08年5月) · 013 (08年7月) · 018 (08年12月) · 019 (09年1月) · 021 (09年3月) · 038 (10年8月)

### ・議会基本条例について

1期目の後半から、議会基本条例の制定に向けた議論が行われました。そこで2期目の1年目、**私の副議長時に議長とともに一年かけて取り組んだのが議会基本条例の制定です。**

しかし、条例制定も内容がまとまりません。私と複数の議員とで意見が違ったのは、議員の質問に対して答えるだけではなく、逆に問い合わせることの出来る反問権をどうするのかでした。私の意見は「市長を含む行政側も反問できるようにしなければ市民のためにならない、反問権を加えないのであれば条例を制定する意味はない」でした。そして、2012年3月1日、議場において私が議会基本条例の制定についての提案理由と反問権を含んだ内容説明を述べました。その場で可決、4月1日より施行されています。

063 (12年12&1月)

### ・周年に向けての提案について

まず、市史を提案しました。市史第1巻は、町から市になった1970年7月1日の市制施行を記念し2年後の10月1日に刊行したもので、内容は市史と言うより町史ではないかと考えたからです。ただ、新たに作って頂きたい市史は市制施行50周年の時にと提案し、その前の40周年に向け、内容は今まで広報誌に掲載されていた「ふるさと四條畷」の66回分に、市内にある石仏の拓本を加えた読みやすいものを提案しました。その結果、2010年の40周年を記念し「歴史とみどりのまち ふるさと四條畷」が、私の提案通りの内容で発刊されました。その後、45周年に「四條畷市史 第五巻（考古編）」が発刊され、50周年に向けての市史も現在執筆中です。

025 (09年7月) · 042 (11年2月)



次に、ご当地ナンバープレートです。当初は周年に関係なく動く広告塔として提案しましたが、2期目からは45周年事業も加えた形にしました。その結果、2015年の45周年を記念し、私の提案通りの内容で発行されました。

037 (10年7月) · 048 (11年9月) · 081 (14年7月) · 093 (15年7月)

### ・開発指導要綱の変更について

本市内において、大型賃貸物件を建設する場合は、四條畷市開発指導要綱に基づいた設計が必要です。しかし、それに基づけば2人世帯までか4～6人を対象としたものしか建てられないのです。そこで、少子化の時代に3人世帯を対象とした建物も建てられるよう要望し、その結果、2016年1月1日本市開発指導要綱が改められました。

106 (16年8月)

同様に、マンション等の駐車場も一般世帯は1戸当たり1台、単身者は1戸当たり0.3台と決まっています。しかし、高齢化や若者の車離れで駐車場の利用が減りますと管理費が不足し修繕計画が狂うなどの問題が出てきます。そこで、本市開発指導要綱の見直しを今も求めています。

125 (18年5月)

## ・議員定数削減について

市議会議員の定数削減は、1期目の時に所属会派で提案しましたが進展はしませんでした。その後、私が市長選挙出馬のために市議会議員を自動失職した時に発行した「長畠ひろのりNews vol.041」で考えを公表しました。その内容は、各中学校区に3名ずつが最低でも必要で、当時は4中学校ありましたので12名。そこに中学校区の人口バランスを考慮し、合計13名、もしくは14名でした。041 (11年1月)

そして、2期目の2011年6月23日、議員定数削減に議員報酬や政務調査費等も含めた特別委員会ができ、何度も議員間で議論され、次の任期（改選後）より4名削減の12名と決定しました。049 (11年10月) · 056 (12年5月)

実施は2015年で、定数減により生じる財源は1年で約5,000万円。そこで3会派から「子ども医療費助成制度の拡充を求めた要望書」を市長へ提出しました。その結果、一部負担はありますが、**医療費無料は2015年7月より小学3年生から中学3年生までとなりました。**085 (14年11月)

## ・議会改革、通年会期制導入について

3期目の2年目、**私の議長時に**年4回の定例議会と1回の臨時議会では議会運営の充実や活性化がはかれないと考え、通年会期制の提案をしました。議員間で多くの議論がありましたが、導入することができました。その結果、2017年5月1日より、**いつでも議会を行えるように会期は一年間**となっています。111 (17年2月) · 126 (18年6月)

## ・四条駅周辺整備計画について

駅の所在地は大東市域ですが、本市の未来にとって重要な計画であるのは間違いないありません。以下、私からの提案です。

**A部分**) 駅舎の2階部分をコンコースとして忍ヶ丘駅方向へ線路上で延長し、東西どこからでも駅へ行けるように階段とエスカレーターを付ける。特に楠公商店街やマクドナルド近くには必ず設け、直接踏切を渡らなくても良いようにする。

**B部分**) 東側ロータリーが計画では小さく大型バスが乗り入れできないので、バス停が設置できるまでロータリーを広げる。

**C部分**) 楠公商店街西にある小楠公墓所を起点に鳥居のある旧国道170号の交差点を終点とする間を歩行者天国（日時等は要検討）とし、この区間の新たな展開を考え、賑わいのある商店街を構築していく。

**D部分**) この道路は無くなり、四条駅周辺の学校用地になります（長畠の提案外）。

**Eの東側延長部分**) 再開発が決定している北条まちづくりを視野に、四条駅周辺市営住宅も含めた整備を考える。

072 (13年10月) · 116 (17年7月) · 117 (17年8月)

## ・自転車レーンについて

イオンモール四條畷がオープンしてから、市道忍ヶ丘砂線の歩道における自転車と歩行者の数が増えたため、自転車と歩行者との接触事故の恐れが出てきました。そこで、自転車レーン設置を提案し、その結果、2016年7月4日に施工されました。082 (14年8月) · 106 (16年8月)



## ・住居表示実施について

緊急時の対応を少しでも早くするために、1期目より要望しています。その結果、2013年11月5日より大字砂地区は砂〇丁目と、2018年3月末には大字中野地区と大字部屋地区も西中野〇丁目や部屋新町と変更されました。残るは、大字岡山、大字南野、大字清瀬、大字逢坂、大字上田原、大字下田原の6カ所です。051 (11年12月) · 054 (12年3月) · 056 (12年5月) · 071 (13年9月) · 089 (15年3月) · 104 (16年6月)

## ・兄弟姉妹で同じ保育園へ

保育所の入所における同一世帯の児童対応が、過去においては保護者の送迎時の負担や児童の精神的な不安を考慮したものとなっていました。

その内容は「同じ時期に2人の兄弟姉妹が保育所への入所を希望されても、3人以上でないと同じ保育所へ入るために優先となる選考基準がない。また、内定の段階で別々の保育所が決まった場合、変更をしたくても入所してからでないと保育所変更希望届けを受け付けてもらえない。」です。

そこで、2013年6月定例議会の一般質問において、私は是正するように求めました。その結果、わずかひと月で改めて頂き、2013年7月10日の保育所入所選考時より、**内定時において同一世帯の児童について入所を優先すること**となりました。069 (13年7月) · 089 (15年3月)

## 四条駅周辺整備完成予想図



※この図は完成予想図です。  
実際とは異なる場合があります。

# 安心安全な瞬をめざして

## ・防犯カメラ設置について

2013年4月13日、5月11日に市民総合センター2階にある図書館において女性に成人男性が近づき下半身を露出する事案が発生しました。



私はその年の6月定例議会において、市民総合センターを含む公共施設に防犯カメラを早急に設置して欲しいと要望しました。その結果、7月22日に市民総合センターの2カ所ある出入り口に防犯カメラが設置されました（画像は駐車場側に設置されたもの）。

先の件以降、公共施設に防犯カメラは増えてきましたが、私は2015年9月定例議会において、施設外が一向に増えてきていないことを問題にし、学校統廃合を行うにあたって通学路に数多くの防犯カメラ設置を要望しました。

その後は、議会として防犯カメラ設置に向けての気運も高まってきたので、私も一議員としてではなく所属する会派として防犯カメラの更なる拡充を要望し続けています。

その結果、防犯カメラは確実に増えています。しかし、まだまだ足りません。今後も、この件に関しては市民皆様方の安心安全が確保されるまで活動を続けます。

大阪府四條畷市は、小学校通学路に防犯カメラを新たに49台増設し、1日から運用を開始する。児童らの登下校中の安全対策などを強化するのが狙いで、市が直接設置したり、町内会などに補助金を出して設置する防犯カメラは市内で約100台になるという。

産経WESTより（2017.2.1）

069(13年7月)・071(13年9月)・096(15年10月)

## ・部屋交差点のスロープ設置について



## ・グリーンベルト設置について

2013年9月定例議会の一般質問において、市内道路の安心安全のためにと私がグリーンベルトの提案をしてから、長年に渡り多くの箇所に取り入れて頂くことを要望していました。画像のように、これまで何カ所も施工をして頂きましたが、まだまだ足りていない状況です。そこで、昨年の6月定例議会の一般質問において改めて強く要望しました。

長畠の要望が通り、  
グリーンベルト施工計画所以上  
総延長2kmが近く、  
施工計画決定



072(13年10月)・079(14年5月)・089(15年3月)・107(16年9月)



国道170号を利用して国道163号を横切るのに、バリアフリーの観点から考えると問題があり、公的な土地を利用したスロープの設置を今も要望しています。 132(18年12月)

# 教育は瞬再生の第一歩！

2006年夏、45才で市長選挙を戦った当時の考えは、2007年春、市議会議員に当選し、初めての定例議会における一般質問において述べさせて頂きました。

その内容については、既に長畠ひろのりNews vol.001や別の号でも書かせて頂きましたが、今月3期目を終えるにあたり改めて報告します。

四條畷町は、昭和45年に35,833人で市になりました。それから清滝団地ができ、人口も増え続け、6年後の昭和51年の人口は52,385人にもなっています。しかし、31年経った現在、田原地区でも田原台等ができ、西部地域でも多くのマンションが立ち並んでいるのに、昭和51年以降、約5,000人しか人口が増えていないのです。

これから進む少子高齢化の時代、四條畷市の人口が減り続けるのは目に見えています。超少子高齢化社会に成れば成る程、一世帯当たりの子どもの数は減り続け、その結果、子どもに対する親の期待や投資意欲は以前に比べ高まっていくと考えられますし、現にそういう傾向です。子どもを持ち活力のある30~40代の世代が、特色ある教育や設備を求め、住むまちを選択すると言う時代がすでに来ているのです。

財政再建を柱として、四條畷市は明確なビジョンを持ったまちづくりを進めなければなりません。私はそのビジョンとして教育に力を注ぐべきだと提言したのです。

教育は投資です。市で育てた子ども達が、また市に帰ってくるような長期的まちづくり。「教育のまち 四條畷市」と、自信を持って言える取り組みを真剣に行っていかなければなりません。そして、それを実現するためには、アイデアを沸き立たせ、市一丸となって考える環境が整い実行できるならば、この市の将来はきっと明るくなると私は考えます。

毎月発行している“長畠ひろのり News”を約半年ごとに送っています。  
送付の必要な方は、送付先をFAXもしくはe-mailにてお知らせ下さい。



<http://nagahata.jp>



# 市議の活動を振り返って

2007年より市議会議員として活動を続けてきました。改めて12年間の活動を振り返りますと、その時々の任期で構成人数は違いますが、市議会議員12人の内の1人としての動きでしかなかったと思います。しかし、それで良かったのでしょうか。

敗れはしましたが、2006年に市長選挙へ出馬した時点で、市民皆様方が私に期待する活動は、もっと違う内容であったのではないかと考えるのです。

そのためにも、初めて政治を志した13年前の熱い想いを取り戻し、原点に立ち返ります。その上で、市議会議員としての立場は変わりませんが、これまで「木を見て森を見ず」であったところを、行政全体を見渡すことから始め、市民中心の四條畷市になるための施策を考え、それに基づいた活動を続けて行く、改めて決意しました。

見守る



この言葉は  
大切です。



見て  
いる  
だけ  
で  
見  
守  
れる  
こと  
つ  
て



あるから。  
「無名人語録」  
永六輔著



## ・市議として、これまでの主な役職

2007年 46歳で市議会議員 初当選

2011年 50歳で市議会議員 2期目当選

2期目の主な役職 四條畷市議会  
くすのき広域連合議会

副議長  
監査委員

2015年 54歳で市議会議員 3期目当選

3期目の主な役職 四條畷市議会

大阪府市議会議長会  
くすのき広域連合議会  
東部大阪治水対策促進議会協議会  
四條畷市交野市清掃施設組合議会

議長  
副会長  
議長  
監事  
監査委員